令和８年第２回定例会　一般会計予算決算常任委員会審査記録

１　日　　時　　令和８年６月２５日（木）午前９時５７分
２　場　　所　　市役所　第１委員会室
３　議　　題　　議第１００号　令和８年度村上市一般会計補正予算（第２号）
４　出席委員（１９名）

２番	佐　藤　憲　昭　君	３番	野　村　美佐子　君
４番	富　樫　光　七　君	５番	上　村　正　朗　君
６番	菅　井　晋　一　君	７番	富　樫　雅　男　君
８番	髙　田　　晃　君	９番	小　杉　武　仁　君
１０番	河　村　幸　雄　君	１１番	尾　形　修　平　君
１２番	鈴　木　一　之　君	１３番	鈴　木　いせ子　君
１４番	川　村　敏　晴　君	１５番	姫　路　　敏　君
１６番	長谷川　　孝　君	１７番	山　田　　勉　君
１８番	三　田　敏　秋　君	１９番	渡　辺　　昌　君
２０番	大　滝　国　吉　君		

５　欠席委員（１名）
　　１番　　魚　野　ル　ミ　君
６　説明のため出席したもの（なし）
７　議会事務局職員

局　　長	内　山　治　夫
次　　長	鈴　木　　渉
書　　記	河　内　真　人

（午前９時５７分）
委員長（大滝国吉君）開会を宣する。

○本日の審査は、議第 100 号　令和８年度村上市一般会計補正予算（第２号）について、それぞれ、各分科会長の審査報告後、質疑を行う。

日程第１　議席の指定について

大滝委員長　　議席の指定を行います。議席につきましては、ただいま御着席の席を指定いたします。
なお、本日御欠席の魚野ルミさんの席につきましては、１番を指定いたします。

日程第２　議第100号　令和８年度村上市一般会計補正予算（第２号）を議題とし、議第100号　令和８年度村上市一般会計補正予算（第２号）について、総務文教分科会会長　渡辺昌君から審査の概要について報告を受けた後、総務文教分科会報告についての質疑を行い、市民厚生分科会会長　鈴木一之君から審査の概要について報告を受けた後、市民厚生分科会報告についての質疑を行い、経済建設分科会会長　小杉武仁君から審査の概要について報告を受けた後、経済建設分科会報告についての質疑を行う。

総務文教分科会
（報　告）

渡辺総務文教分科会長　ただいま上程されております、議第100号 令和８年度村上市一般会計補正予算（第２号）のうち、総務文教分科会所管分について、主な質疑と結果について報告します。去る６月18日、市役所第１委員会室において分科会議員６名、議長及び理事者出席のもと、一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会を開会しました。初めに、歳入について担当課長から説明を受けた後、質疑を行いました。第15款 国庫支出金については質疑なく、第16款 県支出金について、委員より、地域等と連携した探求プロジェクト補助金について、アントレプレナーシップ教育の推進のための国ソフト事業補助金との説明だがその内容は、との質疑に、アントレプレナーシップ教育は以前は起業家教育というような名称で言われていたが、今県のほうでもキャリア教育のバージョンアップという形で力を入れており、起業家的な資質、例えば情報収集能力であるとか、分析力、判断力、リーダーシップやコミュニケーション能力、そういった部分の育成に取り組む事業である。本市では荒川中学校、村上第一中学校、村上東中学校の３校が事業申請しているとの説明でした。第20款 繰越金については質疑がありませんでした。次に、歳出について担当課長から説明を受けた後に質疑を行いました。第２款 総務費について、委員より、借地料について場所はどこか、との質疑に、藤基神社向かいの旧足利商店のところの駐車場であるとの答弁。委員より、３万円の増額で９か月分と思うが時期的に半端ではないか、との質疑に、当初予算の金額での予定であったが、今年度に入ってから貸主から年度途中での更新の依頼があったとの答弁でした。第９款 消防費について、委員より、消防庁舎管理経費の測量設計等委託料について、神林分署の建設地としてどこを選定したのか、との質疑に、候補地の選定については、今回の測量設計委託料で耐震調査業務が終えてから調査する予定であり、現状では現地での建て替えまたは神林支所付近や国道７号付近を検討しており、まだ決定はしていないとの答弁。委員より、これまでの経緯から神林分署は他の場所に移転するものと考えていたが、現在の分署の耐震診断を行う理由は、との質疑に、耐震診断は有利な起債を利用するに当たって構造耐震判定指標の値が必要なため、その調査となる耐震診断で低い数値となった場合には、建て替えや耐震補強はもちろん、移転する場合にも有利な起債である緊急防災減災事業債が利用できる可能性が出てくるもので先行して調査を行うものであるとの答弁。委員より、耐震診断後のスケジュールは、との質疑に、耐震診断結果が出た後、早ければ今年度中の補正予算か来年度当初予算で建設候補地の調査費を計上したい。その後、基本設計、実施設計、建設という流れになるが用地買収が必要となった場合はさらに時間が必要となるが、令和11年度または12年度の竣工を目指しているとの答弁でした。第10款 教育費について、委員より、スキー授業サポート業務委託料について、仮に小雪でぶどうスキー場での授業ができないので、胎内スキー場で実施しようとした場合にも対応できるのか、との質疑に、委託先はぶどうスノーリゾートを予定しているので、ぶどうスキー場以外での対応は難しいとの答弁。委員より、委託料214万7,000円の内訳は、との質疑に、リフト使用料相当分として43万1,000円、インストラクター代として158万4,000円、その他諸経費として13万2,000円を見込んでいるとの答弁。委員より、委託料の全体の金額や単価については、ぶどうスノーリゾートと相談のうえ合意したので、予算計上したとの理解でよいのか、との質疑に、ぶどうスノーリゾートと協議を重ねてきており、例えばスキー道具のレンタルについては、市の財産の無償貸与を受けているということから、通常4,000円のところを1,000円で。その部分は保護者負担になるが貸し出ししていただく。リフト代については同様に下げていただけるが、市としても民間事業者からお借りする相応の分ということで、児童１人当たり1,000円を支払うと

いうことで予算計上になっている。また、昼食代についてもスキー授業向けということで、通常より若干安くしていただく方向で協議がまとまったとの答弁。委員より、このスキー授業中に、仮に児童に事故やけが等が発生した場合は、委託先の責任になるのか、との質疑に、学校管理下のため、委託先ではないとの答弁でした。委員より、郷土資料館、三の丸記念館運営経費の指定管理料について、ユネスコ関連で職員１名を増員するとの説明であったが、学芸員等の識見のある方なのか、また８年度のみの期間限定の雇用なのか、との質疑に、これまで郷土資料館では、正規職員が１名で正規職員の業務過多という状況があり、加えて今回のユネスコ追加登録を受けて、今後の郷土資料館の業務体制の強化を図るための増員である。増員される職員は現在学芸員の資格は持っていないとの答弁。委員より、ユネスコ追加登録により観光客や来場者が多くなると見込まれるが、展示物や村上の祭りの丁寧な説明など、入館者への対応を強化する必要があるのではないか、との質疑に、職員の対応がそっけなかったとの声も聞こえており、積極的なお声がけについて郷土資料館のほうに伝えたところであり、当該指定管理者が所管する施設が多々あるので、同指定管理者に対して改めて職員の接遇について指導したとの答弁でした。第14款 予備費については質疑がありませんでした。質疑を終結し、自由討議を求めましたが自由討議なく、賛否態度の発言を求めましたが賛否態度の発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第100号のうち総務文教分科会所管分については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと態度を決定しました。以上で報告終わります。

総務文教分科会

（質　疑）

姫路　　敏　　委員長、御苦労さまです。総文分科会のときに委員外でも質問できたのですが、私ちょっと通院のために欠席したのでお聞きしたいのですけども。消防の被服費購入の件では委員長から何も報告がなかったのですが、何かございませんでしたか。

渡辺　　昌　　質疑はありませんでした。

姫路　　敏　　理事者側からの説明等では何か関連の説明等ございませんでしたか。

渡辺　　昌　　消防長の説明では被服購入費について、平成16年から平成30年までに購入し職員に貸与した防火衣について、経年劣化に加え耐用年数を経過しており、新ガイドラインに準拠した防火衣への更新購入のため、補正をお願いするものであるとの説明がありました。

姫路　　敏　　そのような説明があって質疑がなかったってことなのですが、消防の被服っていうか命がけで飛び込んでいくところの被服っていうことになると今後どのぐらい、また73名分ということで、市長の報告では出ていますが本来必要な部分っていうのはまだ足りてないのかどうかっていうことが、今のところわからないってことですよね、委員長は。

渡辺　　昌　　15番委員がおっしゃったとおりです。

姫路　　敏　　今後も消防等の被服、神林分署のところの場所の選定なんかも入れて今説明聞いてわかりましたが、消防士が身に付けているものっていうのは、今後もやっぱり劣化していく部分もあるだろうし、恐らく人数分に足りてないのかなってまだ思うところもありますので、ぜひ委員会としてみれば、その辺を追求していってもらいたい。追究っていうか、その辺を確認していってもらいたいなと思っておりますのでよろしくお願いします。

渡辺　　昌　　了解しました。
大滝委員長　　そのほかございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

市民厚生分科会
（報　告）
鈴木市民厚生分科会長　ただいま上程されております、議第100号 令和８年度村上市一般会計補正予算（第２号）のうち、市民厚生分科会所管分については、去る６月19日、市民厚生常任委員会の審査に引き続き、市役所第１委員会室において分科会委員全員、議長、副市長及び理事者出席のもと、市民厚生分科会を開会いたしました。その審査概要と結果について御報告いたします。初めに、歳入について担当課長から説明を受けた後に質疑に入りました。第21款 諸収入、移住定住交流促進推進支援事業補助金について、委員より、事業内容については、との質疑、この事業は新潟日報社に委託をして共同で行っている事業があるが、この補助金が採択されたことにより関東での調査や取材、情報発信といった事業を拡充しつつ行う事業との答弁でありました。委員より、コミュニティ助成自治総合センター交付金の内容については、との質疑に、肴町区については獅子舞の幕の購入や屋台を引く際に利用する台車やスポットクーラーの購入、葛籠山区については集会施設にエアコンを設置する計画であるとの答弁でありました。分科会以外の委員より、コミュニティ助成金の助成割合については、との質疑。対象事業の250万円という上限はあるが、100％の助成であるとの答弁でありました。次に、歳出について担当課長から説明を受けた後に質疑に入りました。歳出では第２款 総務費についてはさしたる質疑なく、第３款 民生費 地域診療情報連携推進費補助金の内容について、委員より、障害者自立支援経費と医療情報との連携はどういった形になっているのか、との質疑に、療養型介護医療等のオンライン資格の確認に伴うシステム改修による電算業務委託料450万5000円のうち、障害者自立支援支払システムの改修には92万9500円で、オンライン資格確認対応に対する改修については325万円となっており、今後マイナ保険証での受診が可能となり、データを取り込める点で事務の負担軽減が図られるというメリットがあるとの答弁でありました。分科会以外の委員より、老人ホーム運営経費、やまゆり荘の指定管理料について、建物の老朽化がかなり進んでいるが建て替えや指定管理の在り方を含め、いつごろ決定されるのか、という質疑に、現在の指定管理者の期間が令和９年度末のため、それまでには方向性を決めたいと考えているとの答弁でありました。ほかにさしたる質疑なく、以上で質疑を終結し、自由討議を求めたところ自由討議なく、賛否の発言を求めたところ発言なく、起立により賛否態度の取りまとめを行った結果、議第100号のうち市民厚生分科会所管分は起立全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。以上で報告終わります。

市民厚生分科会
（質　疑）
大滝委員長　　ただいまの分科会長報告に対する質疑を行います。
（「なし」と呼ぶ者あり）

経済建設分科会

（報　告）

小杉経済建設分科会長　ただいま上程されております、第100号 令和８年度村上市一般会計補正予算（第２号）のうち、経済建設分科会の所管する審査範囲について、審査の概要と結果について御報告いたします。去る６月22日、経済建設常任委員会の審査に引き続き、市役所第１委員会室において分科会委員全員、議長、副市長はじめ理事者出席のもと経済建設分科会を開会いたしました。その審査の概要と結果について主なものを御報告申し上げます。初めに、歳入について担当課長より説明を受けた後に質疑に入りました。第14款 使用料及び手数料の露店市場使用料について、委員より、旧中央公民館の場所に30区画を用意し、キッチンカー２台と通常の露店が９件ということだが、市内事業者に限定した募集だったのか、との質疑に、今回は初めての取組であり、市内事業者を応援したいということで、市内事業者に限定したが来年度以降は検討していきたい。また、内訳は村上地域が５件、神林地域が３件、荒川地域が１件、山北地域が２件で合計11件との答弁。委員より、露店出店者の内訳を見ると相当数が県外だが、これらの方々には暴力団とは関係ない旨の証明書はいただいているのか、との質疑に、本市では県外の露店商も認めているが、事前に申し込みをいただいた後に警察に照会を取った上で、関係がない旨の証明をいただいているとの答弁。ほかにさしたる質疑なく、次に、歳出について担当課長より説明を受けた後に質疑に入りました。初めに第６款 農林水産業費について、委員より、農林水産業総合振興事業を活用した荷さばき所等の照明設備ＬＥＤ化工事について、業者は決定しているのか、との質疑に、これから新潟漁協岩船支所及び山北支所で入札を実施し、７月中に業者が決定すると聞いているとの答弁。分科会以外の委員より、イヨボヤ会館経費の指定管理料で職員の人事異動による増額ということだが、基本的には市が算定した指定管理料の中で指定管理者が調整するものではないか、との質疑に、指定管理者のイヨボヤの里開発公社は３課の施設の指定管理を受けており、その中で職員の異動がある。今回はイヨボヤ会館についての指定管理料の増額だが、人事異動に伴い観光課が所管している村上市民ふれあいセンターの指定管理料は減額の見込みだが、臨時職員を募集しているものの採用には至っておらず、そちらは年度末の精算のタイミングで対応予定であるとの答弁。ほかにさしたる質疑なく、次に第７款 商工費について、委員より、広告料として村上まつりがユネスコに登録されたことを受けて、ウェブプロモーションを行うための経費との説明があったが何社でどういった形で行うのか、との質疑に、今年度から企画戦略課に地域活性化企業人として、DMMから派遣されてきている方とも協議を行い、30社を超えるウェブサイト、祭りや文化、歴史、ファミ対象として、ランダムに約60万回の広告を掲載するための経費であるとの答弁。次に第８款 土木費について、委員より、道路の事業用地の購入面積は、との質疑に、岩船字上の山地内で28平方メートルを購入予定としているとの答弁。ほかにさしたる質疑はありませんでした。以上で質疑を終結し、自由討議を求めたが自由討議なく、賛否について発言を求めたが発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第100号のうち経済建設分科会所管分については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと態度を決定しました。以上で報告を終わります。

経済建設分科会

（質　疑）

大滝委員長　　ただいまの分科会長報告に対する質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

以上で質疑を終結し、自由討議を求めたところ

（自由討議）

姫路　　敏　　先ほども申し上げましたが､総文のほうで質疑がなかったということでございますが、消防士被服費についてみれば、今後命がけで戦っていくというか、そういうところで仕事なさる消防士についてみれば、いわゆる神林分署もそうですが被服も含め、しっかりとその辺に予算立てを立てれるような、総文のほうの質疑をやっていただきたいと。このように私は思いますが、どんなものでしょうか。

（討　論）

（「なし」と呼ぶ者あり）

以上で自由討議を終結し、討論を求めたところ討論なく、起立による採決を行った結果、議第100号については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと決定した。

委員長（大滝国吉君）閉会を宣する。

（午前１０時２１分）